

2020年3月期第2四半期 決算短信補足資料

◇ 2020年3月期 上期連結業績の総括	P. 2
◇ 2020年3月期 上期セグメント別連結業績	P. 3
◇ 2020年3月期 上期連結財政状態	P. 4
◇ 2020年3月期 上期連結業績のポイント	P. 5
◇ 2020年3月期 上期連結キャッシュ・フロー	P. 6
◇ 2020年3月期 通期連結業績計画	P. 7
◇ 2020年3月期 通期セグメント別連結業績計画	P. 8
◇ 主力商品紹介	P. 9

■売上高■

お客様の節約志向を背景とした企業間競争の激化などから、主力のハム・ソーセージ部門が減収するも、調理加工食品部門や食肉事業の売上高が堅調に推移したことなどから、前年同期比2.8%の増収。

■営業利益■

主力のハム・ソーセージ部門が減収するも、調理加工食品部門の増収が寄与したほか、前期に立ち上げたコンビニエンスストア向け新工場の本格稼働による収益力改善などから、前年同期比101.1%の増益。

■親会社株主に帰属する四半期純利益■

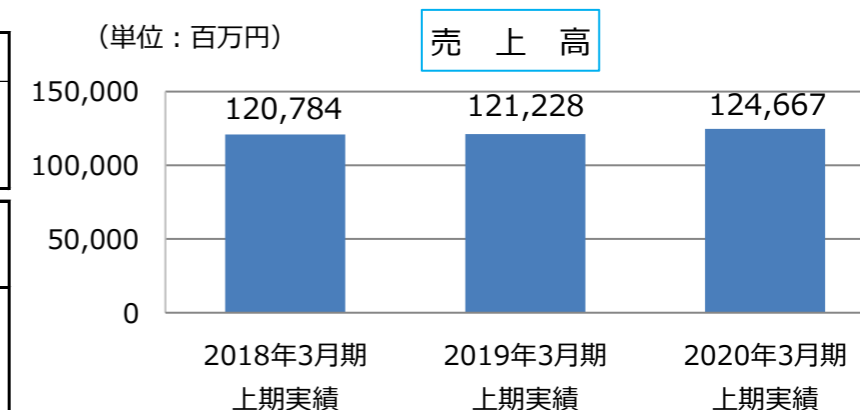
営業利益が大きく伸長したことなどから、前年同期比125.0%の増益。

(単位：百万円)

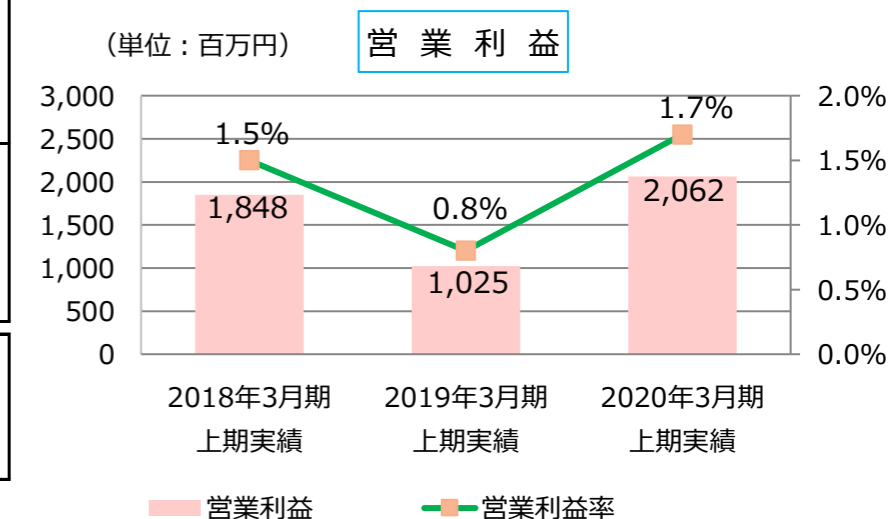
	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期計画 (※1)	2020年3月期				
				上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率
売上高	120,784	121,228	125,000	124,667	3,438	2.8%	△ 332	△ 0.3%
営業利益 (売上高比率)	1,848 (1.5%)	1,025 (0.8%)	1,800 (1.4%)	2,062 (1.7%)	1,036 (0.9%)	101.1%	262 (0.3%)	14.6%
経常利益 (売上高比率)	2,057 (1.7%)	1,232 (1.0%)	2,000 (1.6%)	2,379 (1.9%)	1,146 (0.9%)	93.0%	379 (0.3%)	19.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比率)	1,203 (1.0%)	637 (0.5%)	1,150 (0.9%)	1,434 (1.2%)	797 (0.7%)	125.0%	284 (0.3%)	24.8%
1株当たり 四半期純利益 (※2)	45.83円	25.01円	45.21円	56.42円	31.41円	-	11.21円	-

※1 上期計画：2019年5月14日発表連結業績予想
 ※2 当社は、2018年10月1日に株式併合を実施しております。
 2018年3月期上期実績の1株当たり四半期純利益は、期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	2020年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
加工食品事業	83,660	84,803	86,983	2,179	2.6%
ハム・ソーセージ	43,004	40,241	38,743	△ 1,497	△ 3.7%
調理加工食品	40,656	44,562	48,239	3,677	8.3%
食肉事業	37,051	36,343	37,603	1,259	3.5%
その他	72	80	80	△ 0	△ 0.9%
売上高	120,784	121,228	124,667	3,438	2.8%
加工食品事業 (売上高比率)	766 (0.9%)	210 (0.2%)	1,426 (1.6%)	1,215 (1.4%)	576.7% -
食肉事業 (売上高比率)	1,011 (2.7%)	772 (2.1%)	601 (1.6%)	△ 171 (△ 0.5%)	△ 22.2% -
その他	71	42	35	△ 7	△ 16.8%
セグメント利益 (売上高比率)	1,848 (1.5%)	1,025 (0.8%)	2,062 (1.7%)	1,036 (0.9%)	101.1% -

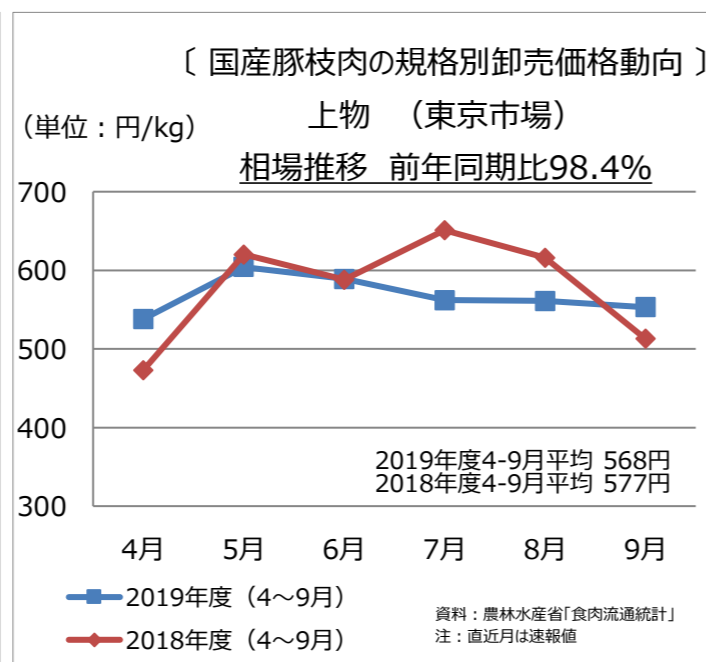
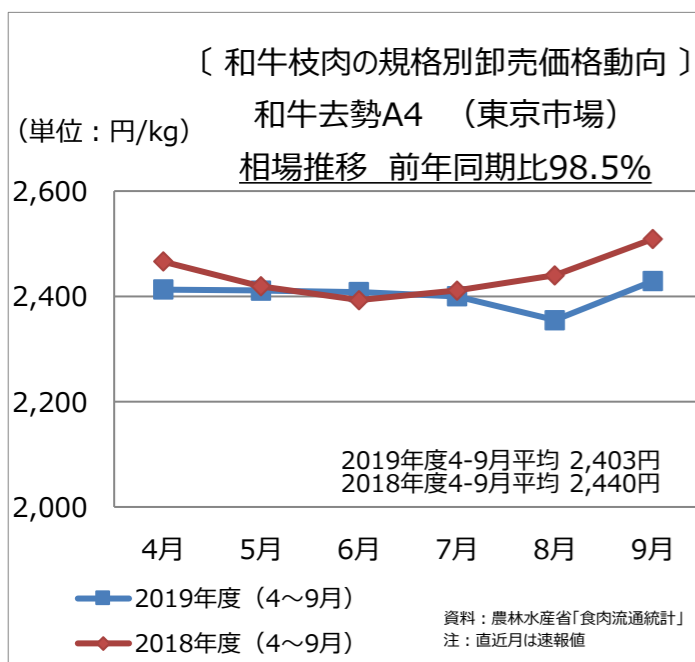
■加工食品事業■

- 〔ハム・ソーセージ部門〕 前年同期比△3.7%の減収
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックオフィシャルサポーターのエンブレムを商品パッケージにデザインした「燻製屋熟成あらびきポークウイナー」など主力商品を中心に販売強化。
 - ・ポリウムパックタイプの「ロースハム」、人気テレビ番組「チョコちゃんに叱られる！」の登場キャラクターを使用した「フィッシュソーセージ(チョコちゃん)」などの新商品を投入。
 - ・「王覇」「煌彩」シリーズなどの中元ギフトを拡販。
 - ・お客様の節約志向を背景とした企業間競争激化などから、減収。

- 〔調理加工食品部門〕 前年同期比8.3%の増収
- ・「チキンナゲット」や「サラダチキン」シリーズが堅調に推移。
 - ・「バターチキンカレー」などの「シェフの匠」シリーズを拡販。
 - ・レトルトカレー商品の売上高伸長。
 - ・デザート・飲料類は、ブラックタピオカ入り飲料が引き続き好調に推移。
 - ・前期に立ち上げたコンビニエンスストア向け新工場の本格稼働が増収に貢献。

- 【総括】
- 売上高は、前年同期比2.6%の増収。
セグメント利益は、ハム・ソーセージ部門が減収するも、調理加工食品部門の増収や、コンビニエンスストア向け新工場の本格稼働に伴う収益力改善などから、前年同期比576.7%の増益。

〔資料：枝肉規格別卸売価格動向〕



■食肉事業■

- 〔牛肉〕 前年同期比増収
- ・国産牛肉の売上高は前年並み。
 - ・輸入牛肉はブランド牛肉の販売に注力し、販売数量伸長。

- 〔豚肉〕 前年同期比増収
- ・国内外における豚コレラの影響などによる不安定な相場。
 - ・国産豚肉の売上高は前年並み。
 - ・輸入豚肉はアウトパック商品の販売を拡大。

- 【総括】
- 売上高は、前年同期比3.5%の増収。
セグメント利益は、国産豚肉の収益性の低下などから、前年同期比△22.2%の減益。

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対前期末 増減額		2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対前期末 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末			第2四半期末	期末	第2四半期末	
現金及び預金	8,085	8,127	9,195	1,068	仕入債務	25,254	23,058	26,168	3,110
売上債権	31,810	30,699	28,281	△ 2,418	有利子負債	19,957	18,017	16,604	△ 1,412
たな卸資産	17,662	15,772	18,704	2,932	その他の	15,994	15,456	16,025	569
その他の	1,680	1,328	1,570	241	負債合計	61,206	56,531	58,798	2,266
流動資産合計	59,239	55,927	57,751	1,824	株主資本	70,254	71,079	71,602	522
有形固定資産	57,714	57,843	57,949	105	その他の包括利益累計額	6,715	4,496	3,956	△ 539
無形固定資産	2,424	2,835	3,208	373	非支配株主持分	484	519	530	11
投資その他の資産	19,281	16,019	15,977	△ 41	純資産合計	77,454	76,094	76,089	△ 4
固定資産合計	79,420	76,699	77,136	437	負債純資産合計	138,660	132,626	134,888	2,261
資産合計	138,660	132,626	134,888	2,261					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■ 設備投資・減価償却費の状況 ■

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対前年同期 増減額
	上期	通期	上期	
設備投資	5,482	9,589	4,189	△ 1,292
減価償却費	3,084	6,433	3,114	29

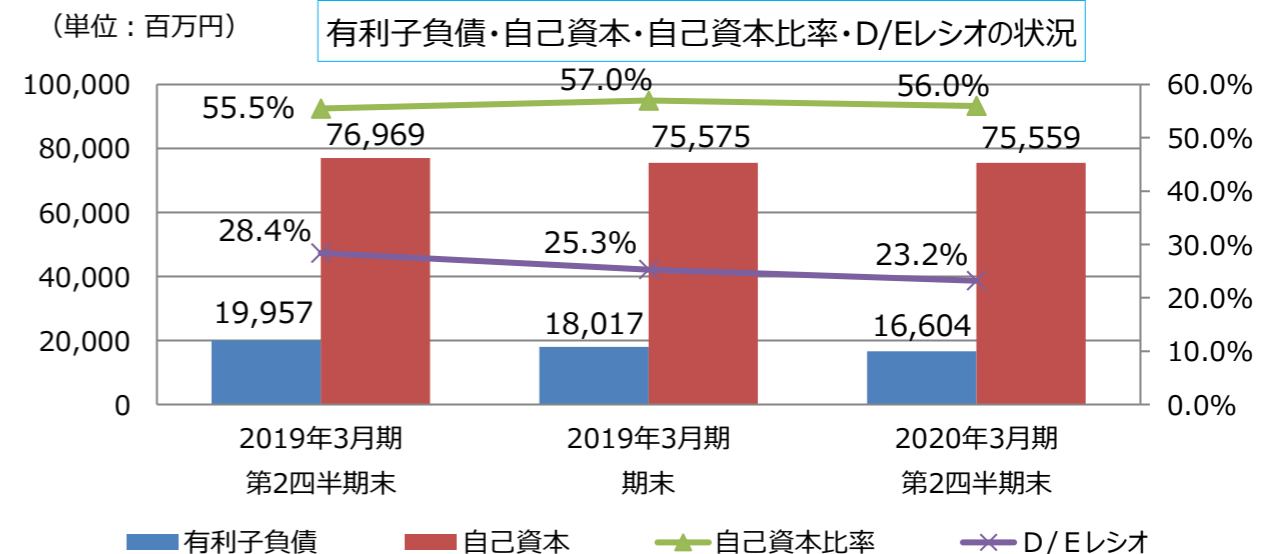
■ 自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況 ■

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対前期末 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末	
自己資本	76,969	75,575	75,559	△ 16
自己資本比率	55.5%	57.0%	56.0%	△ 1.0%
D/Eレシオ	28.4%	25.3%	23.2%	△ 2.1%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆ 総資産は、たな卸資産が増加したことなどから、前期末比2,261百万円増加。
- ◆ 負債は、有利子負債が減少するも、仕入債務が増加したことなどから、前期末比2,266百万円増加。
- ◆ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があるも、剰余金の配当や、その他有価証券評価差額金の減少などから、前期末比△4百万円減少。
- ◆ 自己資本比率は、前期末比△1.0%低下、D/Eレシオは、前期末比△2.1%低下。
- ◆ 設備投資は、前年同期比△1,292百万円減少の4,189百万円を実施。



2020年3月期 上期連結業績のポイント

(単位：百万円)

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	2020年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	120,784	121,228	124,667	3,438	2.8%
売上総利益 (売上高比率)	27,022 (22.4%)	26,737 (22.1%)	28,626 (23.0%)	1,888 (0.9%)	7.1% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	25,173 (20.8%)	25,711 (21.2%)	26,563 (21.3%)	851 (0.1%)	3.3% -
営業利益 (売上高比率)	1,848 (1.5%)	1,025 (0.8%)	2,062 (1.7%)	1,036 (0.9%)	101.1% -
営業外損益	209	206	316	109	-
営業外収益	389	420	522	102	-
営業外費用	180	213	206	△7	-
経常利益 (売上高比率)	2,057 (1.7%)	1,232 (1.0%)	2,379 (1.9%)	1,146 (0.9%)	93.0% -
特別損益	△45	△91	△45	46	-
特別利益	80	84	132	47	-
特別損失	125	176	177	0	-
税金等調整前 四半期純利益	2,012	1,140	2,334	1,193	104.6%
法人税等合計	796	491	883	392	-
四半期純利益	1,215	649	1,450	801	-
非支配株主に帰属する 四半期純利益	11	11	15	4	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,203	637	1,434	797	125.0%

増 減 要 因

■売上総利益■

調理加工食品部門の増収やコンビニエンスストア向け新工場の本格稼働に伴う収益力改善などから、売上総利益は、1,888百万円（前年同期比7.1%）の増益。
売上総利益率は23.0%、前年同期比0.9%の改善。

■販売費及び一般管理費■

物流コスト上昇に伴う配送費 1,044百万円の増加（前年同期比7.4%）を主要因に、販管費全体では 851百万円（前年同期比3.3%）の増加。
対売上高比率は21.3%、前年同期比0.1%の上昇。

(単位：百万円)

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	2020年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
人件費	5,819	5,602	5,270	△331
配送費	13,623	14,115	15,160	1,044
その他の	5,730	5,993	6,132	138
合計	25,173	25,711	26,563	851

■営業外損益■

(単位：百万円)

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	2020年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
受取利息・配当金 その他	139 250	164 256	181 340	17 84
営業外収益計	389	420	522	102
支払利息 その他	91 88	106 107	109 96	3 △10
営業外費用計	180	213	206	△7

■特別損益■

(単位：百万円)

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	2020年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
固定資産処分益 投資有価証券売却益	80 -	5 78	132 0	126 △78
特別利益計	80	84	132	47
固定資産処分損 減損損失	109 15	91 27	144 32	53 5
その他	0	58	-	△58
特別損失計	125	176	177	0

■ 営業活動によるCF ■

減価償却費や税金等調整前四半期純利益の計上、
 運転資金の減少による増加要因などから、
 7,171百万円増加。

■ 投資活動によるCF ■

固定資産の売却による収入があるも、生産設備の
 増強・合理化や品質向上のための固定資産取得に
 よる支出などから、△3,460百万円減少。

■ 財務活動によるCF ■

有利子負債の減少や配当金の支払いなどから、
 △2,642百万円減少。

(単位：百万円)

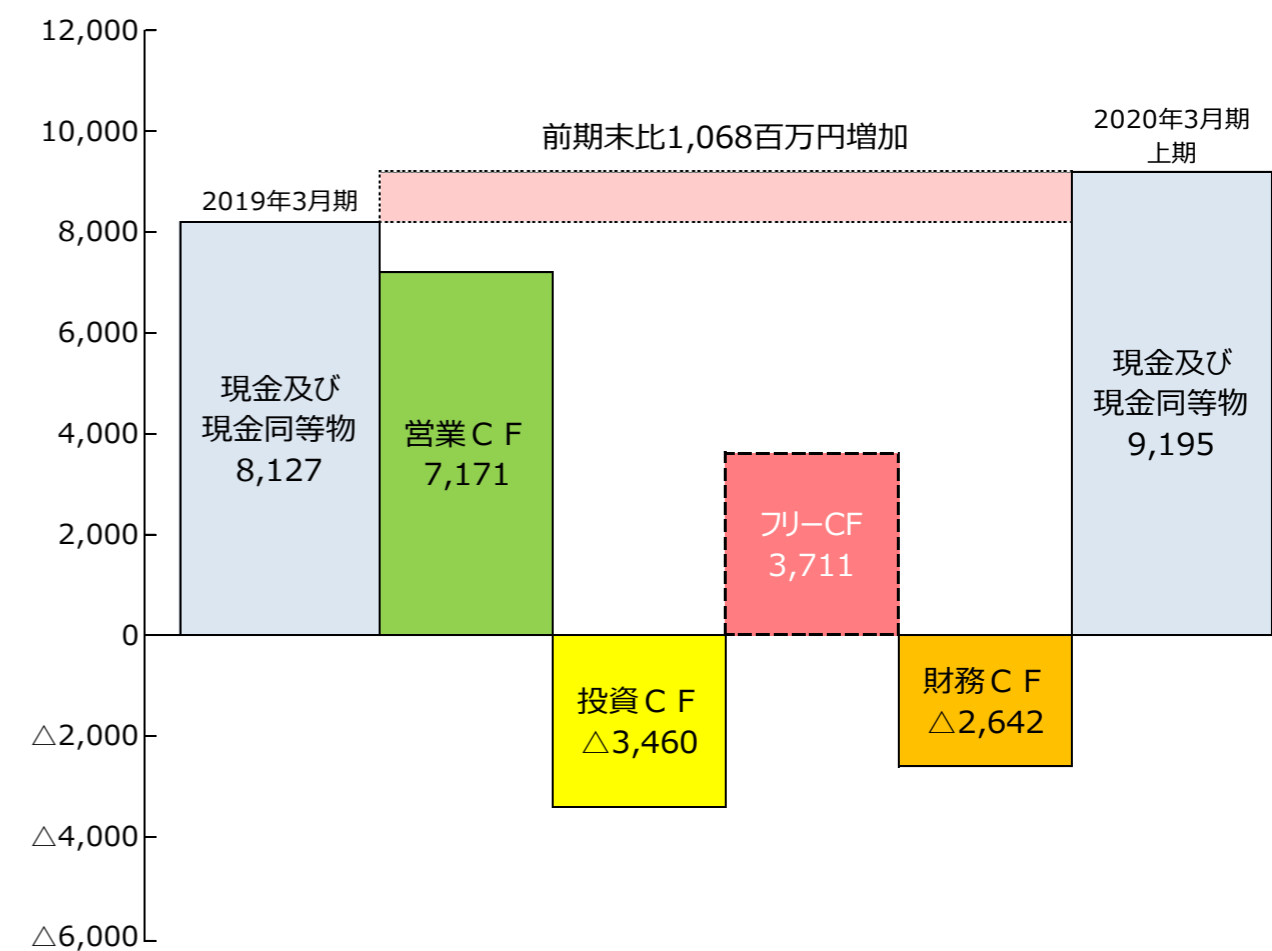
	2019年3月期		対前期 増減額
	上期実績	上期実績	
営業活動によるCF	1,563	7,171	5,607
投資活動によるCF	△4,756	△3,460	1,296
フリー・キャッシュ・フロー ※1	△3,193	3,711	6,904
財務活動によるCF	2,569	△2,642	△5,212
現金及び現金同等物の増減額 ※2	△623	1,068	1,692
現金及び現金同等物残高	8,085	9,195	1,109

■ 2020年3月期上期連結キャッシュ・フローの主な内訳 ■

(単位：百万円)

	2019年3月期		対前期 増減額
	上期実績	上期実績	
◆ 営業活動によるCF ◆			
・税金等調整前四半期純利益	1,140	2,334	1,193
・減価償却費	3,084	3,114	29
・運転資金	△2,426	2,571	4,998
・その他	△234	△848	△613
◆ 投資活動によるCF ◆			
・固定資産の取得による支出	△5,017	△3,597	1,419
・固定資産の売却による収入	162	333	170
・その他	97	△196	△293
◆ 財務活動によるCF ◆			
・有利子負債増減	3,770	△1,727	△5,498
・配当金の支払額	△1,019	△889	129
・その他	△182	△25	156

(単位：百万円)



※1 フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

※2 現金及び現金同等物の増減額には現金及び現金同等物の増減額に係る換算差額を含む。

- ・当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指す。
- ・「基幹事業の拡大と次なる柱の育成」「商品開発力、技術力の強化」「ローコスト経営の促進」「人材の育成」「社会的責任の遂行」の基本方針を軸に企業活動を推進。

〔2020年3月期下期の当社グループを取り巻く環境〕

- ・通商問題等における海外経済の動向や金融資本市場の変動、消費税率引上げ後の消費者マインドが消費に与える影響などに加え、お客様の節約志向を背景とした企業間競争がますます激しさを増すことが想定され、下期も予断を許さない厳しい状況が続く見通し。

〔通期業績計画〕

- ・2020年3月期通期連結業績計画は、2019年5月14日に公表からの修正は無し。

■通期見通し■

(単位：百万円)

	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期				通期 計画	対前期 増減額	対前期 増減率
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 計画	対前期 増減額	対前期 増減率			
売上高	120,784	118,801	239,586	121,228	121,802	243,030	124,667	125,332	3,530	2.9%	250,000	6,969	2.9%
営業利益 (売上高比率)	1,848 (1.5%)	521 (0.4%)	2,370 (1.0%)	1,025 (0.8%)	1,227 (1.0%)	2,253 (0.9%)	2,062 (1.7%)	1,437 (1.1%)	209 (0.1%)	17.1% -	3,500 (1.4%)	1,246 (0.5%)	55.3% -
経常利益 (売上高比率)	2,057 (1.7%)	762 (0.6%)	2,820 (1.2%)	1,232 (1.0%)	1,491 (1.2%)	2,724 (1.1%)	2,379 (1.9%)	1,520 (1.2%)	29 (0.0%)	2.0% -	3,900 (1.6%)	1,175 (0.5%)	43.2% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	1,203 (1.0%)	638 (0.5%)	1,842 (0.8%)	637 (0.5%)	826 (0.7%)	1,463 (0.6%)	1,434 (1.2%)	615 (0.5%)	△211 (△0.2%)	△25.6% -	2,050 (0.8%)	586 (0.2%)	40.0% -
1株当たり 当期純利益	45.83円	24.56円	70.39円	25.01円	32.47円	57.48円	56.42円	24.21円	△8.26円	-	80.63円	23.15円	-
1株当たり配当金	-	-	8円	-	-	35円	-	-	-	-	35円	-	-

※当社は、2018年10月1日に株式併合を実施しております。
 2018年3月期の1株当たり当期純利益は、当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。
 ※2018年3月期の1株当たり配当金は、株式併合前の実際の配当額を記載しております。

2020年3月期 通期セグメント別連結業績計画

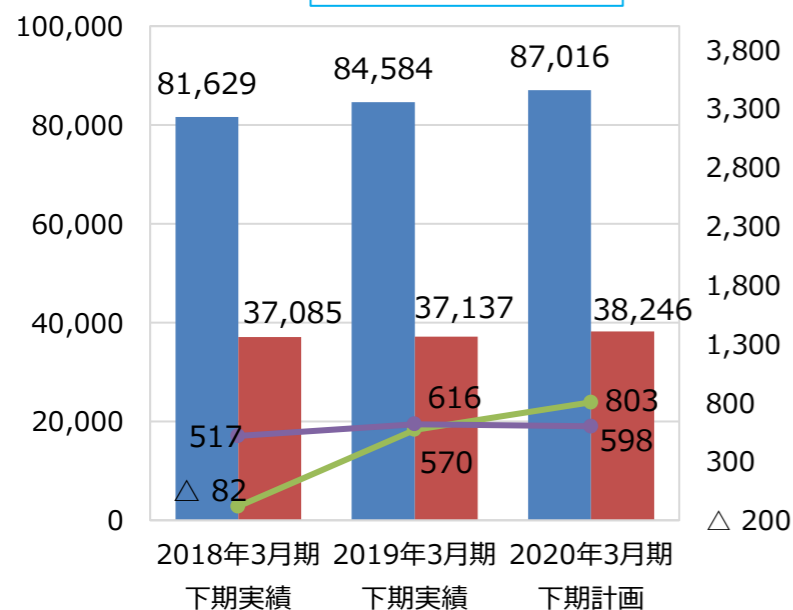
■セグメント別通期見通し■

(単位：百万円)

	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
加工食品事業	83,660	81,629	165,290	84,803	84,584	169,387	86,983	87,016	2,432	2.9%	174,000	4,612	2.7%
食肉事業	37,051	37,085	74,136	36,343	37,137	73,481	37,603	38,246	1,108	3.0%	75,850	2,368	3.2%
その他	72	87	159	80	80	161	80	69	△10	△13.4%	150	△11	△7.2%
売上高	120,784	118,801	239,586	121,228	121,802	243,030	124,667	125,332	3,530	2.9%	250,000	6,969	2.9%
加工食品事業 (売上高比率)	766 (0.9%)	△82 (△0.1%)	683 (0.4%)	210 (0.2%)	570 (0.7%)	781 (0.5%)	1,426 (1.6%)	803 (0.9%)	233 (0.2%)	40.9% -	2,230 (1.3%)	1,448 (0.8%)	185.4% -
食肉事業 (売上高比率)	1,011 (2.7%)	517 (1.4%)	1,528 (2.1%)	772 (2.1%)	616 (1.7%)	1,389 (1.9%)	601 (1.6%)	598 (1.6%)	△17 (△0.1%)	△2.9% -	1,200 (1.6%)	△189 (△0.3%)	△13.6% -
その他	71	87	158	42	39	82	35	34	△5	△13.6%	70	△12	△15.3%
セグメント利益 (売上高比率)	1,848 (1.5%)	521 (0.4%)	2,370 (1.0%)	1,025 (0.8%)	1,227 (1.0%)	2,253 (0.9%)	2,062 (1.7%)	1,437 (1.1%)	209 (0.1%)	17.1% -	3,500 (1.4%)	1,246 (0.5%)	55.3% -

(単位：百万円)

下期実績・計画



■加工食品事業■

- ・東京2020オリンピックの応援キャンペーンを中心とした販促活動と新商品の導入による売上拡大。
- ・歳暮ギフトは「東京2020オリンピック応援特別デザインハムギフト」「王覇」「煌彩」シリーズを中心に拡販。
- ・「スンドゥブ」シリーズの販促活動の実施、チキン惣菜や各種レトルト商品の拡充。
- ・デザート・飲料類は季節に合わせた販促提案の実施と新商品を拡販。

加工食品事業の通期業績は、売上高2.7%増、セグメント利益185.4%増を計画。

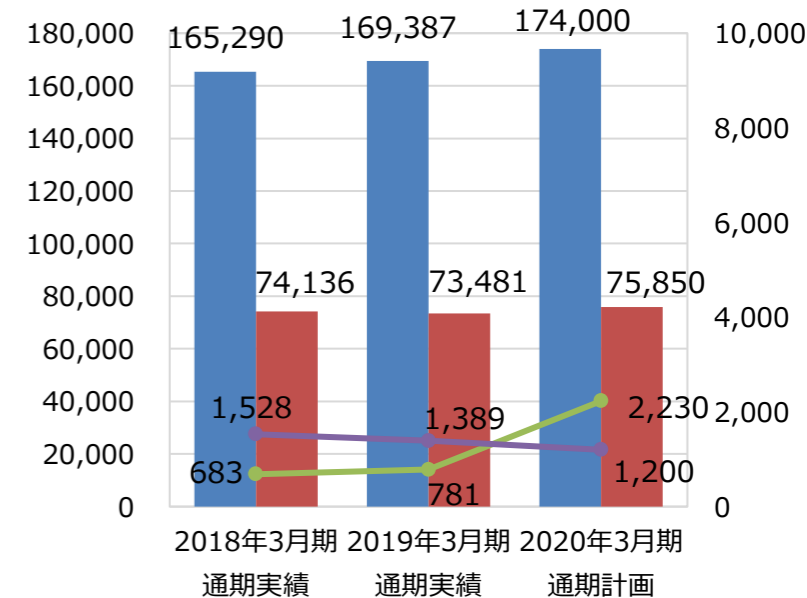
■食肉事業■

- ・産地やブランドによる付加価値を訴求した拡販。
- ・業務用食肉の販路拡大。
- ・食肉加工品の拡充。

食肉事業の通期業績は、売上高3.2%増、セグメント利益△13.6%減を計画。

(単位：百万円)

通期実績・計画





ハム・ソーセージ部門
加工食品

おどる
おいしさ

KUNSEIYA

燻製屋熟成あらびき
ポークウィンナー

丸大食品は、ハム・ソーセージを通じて東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を応援しています。

※2019年6月制作 燻製屋ツール



丸大食品 東京2020オリンピック応援特別デザインハムギフト



フィッシュソーセージ

丸大オリジナル
パッケージカード

Don't sleep through life! Don't sleep through life! Don't sleep through life!

お弁当ウイナー

丸大オリジナル
お弁当ウイナー

©NHK



調理加工食品部門
事業

韓国家庭料理

スンドゥブ

豆腐があればすぐできる

108~18年スンドゥブの素
11年連続売上No.1

3袋タイプ



EMIAL



SWEET CAFÉ

ふるふるゼリー×クリーミーソース

カプチーノ

丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。